

六本木アートナイト開催に向けて

このたび、私たち六本木アートナイト実行委員会（国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、森美術館、森ビル株、六本木商店街振興組合）は、東京都が標榜する「世界文化都市・東京の実現」に賛同し、六本木の“街”および文化施設が連携したアートイベント「六本木アートナイト」を東京都と（財）東京都歴史文化財団との共同主催事業として開催いたします。

【街とアートが融合した一日限りの祝祭】

六本木エリアは、相次ぐ大規模都市再開発、美術館をはじめとした文化施設の集積等、近年大きく進化を遂げ、東京の新たな文化拠点として飛躍的な発展を続けています。

「六本木アートナイト」は、六本木という街の更なるポテンシャルの掘り出しを求めて、様々なアート作品の展示やパフォーマンス等のアートイベント、また美術館の開館延長等によって、一日だけ街を変貌させようという試みです。六本木エリア内の文化施設、公共施設、各国大使館や企業等にもご協力いただき、六本木を訪れる人々、また生活する人々と一緒に、これまで体験したことのない出会いと発見に満ちた驚きの一夜を創出することを目指します。

「アートの持つ力が街を変える」——その瞬間を全ての参加者と共に体験し、世界に発信していきたいと考えています。

2009年1月20日

六本木アートナイト実行委員会
実行委員長 南條 史生



ココロを挑発する、一夜。 六本木アートナイト

アートの子カラと、六本木のエネルギーが出会ったとき。

この街を訪れる人々のココロに何を刻むのか。

「六本木アートナイト」。あなたを挑発する夜が、幕を開けます。

国立新美術館、サントリー美術館、森美術館の3つの美術館を擁し、今や東京のアート・カルチャーの発信源として世界から常に注目を集めるエリアに成長した六本木。その六本木の街がアートと融合する一夜限りのイベント「六本木アートナイト」が2009年3月28日(土)～29日(日)に開催されます(コアタイム:3/28 17:59<日没>～3/29 5:32<日の出>)。このプロジェクトは東京からの新しい文化の創造・発信をめざす「東京文化発信プロジェクト」の一環として開催されるもので、東京都、(財)東京都歴史文化財団、六本木アートナイト実行委員会(国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、森美術館、森ビル株、六本木商店街振興組合)の共同主催事業として行われます。

「六本木アートナイト」とは、様々なインスタレーションやカルチャーイベントによって街を大きく変貌させようという、これまでにない新しい試みです。2009年3月28日(土)から29日(日)にかけて、国立新美術館、サントリー美術館の開館時間延長をはじめとし、東京ミッドタウン、六本木ヒルズの施設内で様々なアートプログラムを開催します。六本木エリア全体を舞台とするスペシャルプログラム(仮称)では『六本木ドキュメント』(仮称)として、今回注目のアート作品の一つである、ヤノベケンジによる体長7.2mの巨大ロボット(機械彫刻)《ジャイアント・トラヤン》が六本木ヒルズアリーナに登場し、パフォーマンスを繰り広げます。また、日比野克彦のアートディレクションにより約20個のコンテナアートが登場する『六本木キューブ』(仮称)では、約2m立方という限られたコンテナの中で参加アーティスト達が自由な発想でアートを表現します。そして、六本木の街並みを大きく変えようという試み『チェンジ・ザ・シナリー』(仮称)では、有志参加者が光る風船を持ち、東京ミッドタウンの芝生広場まで夜の六本木エリアをパレードする、平野治朗による壮大な光のアート《GINGA》プロジェクトや、ビニール袋で作った花で広場を埋め尽くす、丸山純子によるインスタレーションが展開されます。

さらにエリア内の、文化施設、公共施設、各国大使館、企業等にもご協力いただき、その他の街角や公園などの屋外スペース、ギャラリー、商業店舗などのあらゆる場所でのアートプログラムの展開や終夜営業など、まさに六本木エリア全体が夜を徹してアートと融合する一夜限りのお祭りです。

アートの力がどこまで街を変えることができるのか。六本木がアートで変わる驚きと感動の一夜を多くの皆様に体験いただき、アートの持つ力やその可能性を体感していただきたいと考えています。



六本木アートナイト公式ロゴ

※開催内容の詳細についてはニュースリリースとして随時ご案内させていただきます。

本件に関するお問合せ先：六本木アートナイト実行委員会 広報事務局

株式会社ブラップジャパン 担当：榎木、名取、山本、藤原

TEL:03-3486-7355 FAX:03-3486-7507

「六本木アートナイト」開催概要

名称： 六本木アートナイト

日時： 2009年3月28日(土)午前10時～3月29日(日)午後6時

●コアタイム 3/28 17:59<日没>～3/29 5:32<日の出>

全体の開催時間内でメインとなるインスタレーションやイベントが集中する時間。

場所： 六本木ヒルズ、東京ミッドタウン、国立新美術館、サントリー美術館、
六本木地区・周辺の一部公共スペースや協力施設など

主催： 東京都

(財)東京都歴史文化財団

六本木アートナイト実行委員会

(国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、森美術館、森ビル(株)、
六本木商店街振興組合)

料金： 無料 (但し、一部の美術館企画展およびプログラムは有料)

問合せ先： 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

公式ウェブサイト：www.roppongiartnight.com

全体スケジュール(予定)：

	2009/3/28											2009/3/29																				
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	コアタイム																															
「六本木アートナイト」 スペシャルプログラム (仮称)																		ROPPONGI DOCUMENT by ヤノベケンジ														
																		ROPPONGI CUBE by 日比野克彦														
																		CHANGE THE SCENERY by 平野治朗														
																		CHANGE THE SCENERY by丸山純子														
国立新美術館	「ルーヴル美術館展」「アーティスト・ファイル2009」 ※コンサート、ギャラリートーク有り											※開館延長(～22:00)					「ルーヴル美術館展」 「アーティスト・ファイル2009」															
サントリー美術館	「一瞬のきらめき まぼろしの薩摩切子」展 ※ミニライブ、スライドレクチャー有り											※開館延長(～23:00)					「一瞬のきらめき まぼろしの薩摩切子」展															
東京ミッドタウン	映像作品上映											Tokyo Midtown ART BOX					映像作品上映															
六本木ヒルズ	アーティスト達による作品展示、パフォーマンス ※プログラムにより時間は異なる																															

※各プログラムの内容・スケジュールは変更になる場合があります。

東京文化発信プロジェクトについて

東京ならではの芸術文化の創造・発信、芸術文化を通じた子供達の育成を目的として、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体等と協力して実施するもので、演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野で文化イベントを展開していきます。

「六本木アートナイト」開催プログラム

スペシャルプログラム(仮称)～六本木の街中にアートが出現！～

■ ROPPOINGI DOCUMENT (六本木ドキュメント)(仮称)

体長 7.2m の巨大ロボット、ヤノベケンジによる機械彫刻《ジャイアント・トラヤン》が六本木ヒルズアリーナに登場。体長 7.2 メートルの巨大ロボットを中心に、アートと街とが融合する一夜限りの出来事が繰り広げられます。

[想定場所] 六本木ヒルズアリーナおよびその周辺



ヤノベケンジ プロフィール

1991 年京都市立芸術大学大学院美術研究科修了。1990 年初頭から現代社会におけるサヴァイヴアルをテーマに、実際に装着したり乗って動かしたりできる大型の機械彫刻作品を数多く制作。21 世紀の幕開けとともに、リヴァイヴアルへとテーマを移行させ、既成のアートの枠組みを超えた創造的活動を次々と展開している。

ウェブサイト「YANOBE KENJI ART WORKS」<http://www.yanobe.com/>

■ ROPPOINGI CUBE (六本木キューブ)(仮称)

日比野克彦氏によるアートディレクションにより、約 2m 立方のコンテナという限られた空間を使って様々なアートが展開されます。約 20 個のコンテナは六本木ヒルズ、東京ミッドタウン、国立新美術館をはじめ六本木エリア各所に展示されます。

なお国立新美術館では「アーティスト・ファイル 2009」出展作家、石川直樹、大平^{みのる}實、村井進吾により制作されたコンテナが展示されます。

[想定場所] 六本木エリア各地



日比野克彦
《THE SEED TRIP「種は船」造船プロジェクト》
2008年 撮影: 笠木靖之



日比野克彦
《こよみのよぶね》2006年
展示風景: 長良川河畔 (岐阜)

日比野克彦 プロフィール

1958年岐阜市生まれ。東京芸術大学大学院修了。在学中にダンボール作品で注目を浴び、国内外で個展・グループ展を多数開催する他、舞台美術、パブリックアートなど、多岐にわたる分野で活動中。近年は各地で一般参加者とその地域の特性を生かしたワークショップを多く行っている。ウェブサイト「CAFE HIBINO NETWORK」<http://www.hibino.cc>

■ CHANGE THE SCENERY (チェンジ・ザ・シナリー)(仮称)

1. 平野治朗 《GINGA》

参加者に光る風船を配布し夜の六本木の街をパレードします。最終的には東京ミッドタウンの芝生広場に集まり、壮大な光のアートが出現します。

[想定場所] 国立新美術館→六本木ヒルズ→東京ミッドタウン 芝生広場



2003年夏、「越後妻有アートトリエンナーレ」において行われた《GINGA》プロジェクト。何千人もの人々が、風船を持って新潟県十日町の国道を提灯行列のように歩いて設置し、光の彫刻を作りました。

平野治朗《GINGA》2003年
越後妻有アートトリエンナーレ 2003 (新潟)



東京ミッドタウン 芝生広場

平野治朗 プロフィール

金沢市生まれ。1987年に松蔭浩之とArt Unit Complesso Plasticoを結成し、その後個人またはユニットで活動。最近の主な作品に、宇宙の記憶を映像と音で体感させる《120億光年》(水戸芸術館)や、環境彫刻《GINGA》(越後妻有アートトリエンナーレ、2003年)などがある。

2. 丸山純子によるインスタレーション

ビニール袋で作られた無数の花が広場を埋め尽くし、六本木通りの見慣れた景色を一晩だけ変えます。

[想定場所] 六本木ヒルズ ノースタワー前芝生広場



丸山純子《無音花畑》2007年
BankArt1929 (横浜)

丸山純子 プロフィール

1976年山梨県生まれ。ニューヨーク市立大学ハンターカレッジ美術学科卒。廃材や日用品を使用した立体作品・インスタレーションを主に制作。「越後妻有アートトリエンナーレ 2006」などの国際展や、2008年 オーストラリアでのグループ展「Field of Ideas」などに参加。

各美術館・施設プログラム(仮称)

■ 国立新美術館

- 開館時間延長(22時まで開館)

① 「ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち」

[場所:企画展示室 1E]

主催: 国立新美術館/ルーヴル美術館/朝日新聞社/
テレビ朝日

観覧料 有料 ※料金詳細は別紙ご参照下さい。



ティツィアーノ 《聖母子と聖ステパノ、聖ヒエロニムス、聖マウリティウス》1517年頃
油彩、カンヴァス© RMN / René-Gabriel Ojéda / distributed by DNPartcom

② 「アーティスト・ファイル 2009—現代の作家たち」 [場所:企画展示室 2E]

主催: 国立新美術館

観覧料 有料 ※3/28(土)のみ無料。料金詳細は別紙ご参照下さい。



石川直樹 《Graveyard/Iluissat》 2006年



大平貴 《サンタ・アナの風》 2007年
撮影: Yoshi HASHIMOTO

村井進吾 《個体1》、《個体2》 2003年
撮影: 山本糾

- コンサート(19:00~19:30)

演奏予定者:佐藤芳明(アコーディオン)他

- 「アーティスト・ファイル 2009」出品作家によるギャラリートーク

[場所:企画展示室 2E]

・ 村井進吾(20:00~20:30)、宮永愛子(20:30~21:00)



宮永愛子 《風の届く朝》(部分) 2008年 (釜山ビエンナーレ 2008) 撮影: 宮永愛子 写真提供: ミヅマアートギャラリー

- 「アーティスト・ファイル 2009」出品作家による屋外インスタレーション

平川滋子によるインスタレーションとドキュメント映像の投影(日没~22:00)

[場所:屋外]



平川滋子 《光合成の木》 2006年
(市庁舎公園、フランス、アルジャントウイユ市) 撮影: 平川滋子

- ミュージアムショップ『スーベニア フロム トーキョー』では、3/28(土)と29(日)に商品をお買い上げ全てのお客様にSFTオリジナルポストカードを差し上げます。

■ サントリー美術館

➤ 開館時間延長(23時まで開館)

※最終入館は30分前まで ※shop×cafeも23時まで営業<L.O.22:30>

「一瞬のきらめき まぼろしの薩摩切子」展 [場所：4,3F 展示室]

主催：サントリー美術館/日本経済新聞社/テレビ東京

観覧料 有料 ※ただし中学生以下は無料。料金詳細は別紙ご参照下さい。



薩摩切子 紅色被皿



薩摩切子 藍色被船形鉢



薩摩切子 黄色小鉢

※写真はサントリー美術館蔵

➤ スライドレクチャー (20:00~20:30)

➤ ミニライブ (21:30~22:00)

■ 東京ミッドタウン

➤ Tokyo Midtown ART BOX (24:00~翌 5:00) [場所:ガレリア B1F アトリウム]

東京ミッドタウンのアトリウムがアートを楽しめる空間「ART BOX」に変身。通常、夜間は閉館しているイベントスペース「アトリウム」で、JAZZ、落語、ショーなどのPerforming Artsを展開。また、東京ミッドタウン・デザインハブ九州大学 芸術工学部東京サイト協力のもと、学生達が制作した映像作品も上映。非日常な空間の中で表現されるアートを楽しんでいただきます。

<プログラム(予定)>

- ・ 学生による映像作品上映 (制作：九州大学 芸術工学部)
- ・ 映像×音楽のパフォーマンス (アーティスト：metalmouse)
- ・ 落語
- ・ JAZZ 他

※なお、「Tokyo Midtown ART BOX」で上映する映像は、東京ミッドタウンに設置している映像モニターでも期間中にご覧いただけます。



JAZZ パフォーマンスイメージ



metalmouse

■ 六本木ヒルズ

➤ 六本木ヒルズ内の各所に大型のインスタレーションが登場します。また、イベント(音楽、パフォーマンスなど)も開催し、六本木アートナイトを盛り上げます。

- ・ 高橋匡太によるライトアート [場所：66 プラザ]
- ・ 藤原隆洋による回転式巨大バルーン [場所：ウェストウォーク]
- ・ ドウ・ジェンジュンによるインタラクティブアート [場所：大屋根プラザ]
- ・ 中谷芙二子による霧とライトのインスタレーション [場所：毛利庭園]
- ・ 開発好明による立体作品展示 [場所：大屋根プラザ]
- ・ チャンチキトルネードによるライブパフォーマンス

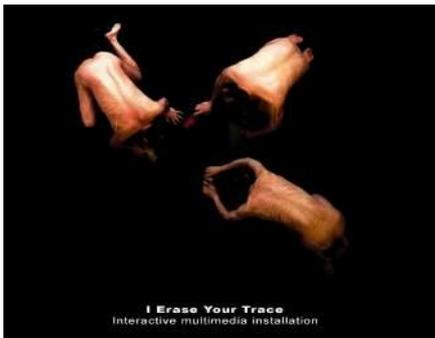
※ このほか、複数の作品を計画・検討中



高橋匡太 《いるとどりのかけら》2008年
十和田市現代美術館 (青森)
撮影:北村 光隆



藤原隆洋 《into the blue》2008年
協力: トロント市、稲畑ファインテック株式会社
展示風景: 「ヌイ・ブロンシュ」トロント・イートンセンター (カナダ)



ドウ・ジェンジュン 《私はあなたの跡を消す》2001年
インタラクティブ・マルチメディア・インスタレーション



中谷芙二子 《霧の森》1992年
設計協力: 北川原温+ILCD、森岡侑士、高谷史郎
総合計画: 高野ランドスケーププランニング
展示風景: 昭和記念公園園子の森 (東京)
Photo: Shigeo Ogawa



チャンチキトルネード
ジョグジャカルタ・マリオポロ市場通りパレード (インドネシア)
2008年



開発好明
《発泡苑イン・ウィンタートゥア》2006年
展示風景: ウィンタートゥア市 (スイス)

※上記はアーティストのこれまでの作品であり、六本木アートナイトでの出展作品とは異なるものもあります。

その他、関連プログラム

<店舗の終夜営業>

飲食を中心に六本木ヒルズ、東京ミッドタウン、六本木商店街他店舗の終夜営業や営業時間の延長を実施。

<オープニングイベント>

3月28日17:30～(予定) ※詳細検討中

<アートラリー>

スペシャルプログラム、各美術館・施設プログラムと周辺ギャラリー、店舗等で展開するスタンプラリーを実施予定。※詳細検討中

<アートクーポン>

各施設、周辺エリアの店舗の協力で、六本木アートナイト限定のスペシャルクーポンも検討中。

国立新美術館、サントリー美術館 観覧料について

◎国立新美術館 「ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち」

観覧料：当日：一般 1,500 円、大学生 1,200 円、高校生 800 円、中学生以下無料
前売：一般 1,300 円、大学生 1,000 円、高校生 600 円
団体：一般 1,200 円、大学生 900 円、高校生 500 円

(団体料金の適用は 20 名以上)

▽3/27(金)、3/28(土)、3/29(日)は高校生の無料招待日(学生証提示が必要です)

※前売券の販売は 2009 年 1 月 7 日(水)～3 月 24 日(火)まで。

※前売券は展覧会公式サイト、チケットぴあ、ローソンチケット他で取り扱っています。

◎国立新美術館 「アーティスト・ファイル 2009—現代の作家たち」

観覧料：当日：一般 1,000 円、大学生 500 円
前売：一般 900 円、大学生 400 円
団体：一般 800 円、大学生 400 円 (団体料金の適用は 20 名以上)

▽3/28(土)は無料招待日

▽会期中に当館で開催中の企画展、及び公募展のチケット、またはサントリー美術館、森美術館で開催中の企画展チケット(半券可)を提示された方は団体料金が適用されます。

※前売券、及び当日券はチケットぴあ、ローソンチケットで取り扱っております。

◎サントリー美術館 「一瞬のきらめき まぼろしの薩摩切子」展

観覧料：当日：一般 1,300 円、大・高校生 1,000 円、中学生以下無料
前売：一般 1,100 円、大・高校生 800 円

▽国立新美術館、森美術館、21_21 DESIGN SIGHT の企画展チケットの半券を提示された方は 100 円割引でご入館いただけます。

▽夜間ペア割引：18 時以降ペアでご来場の方は、特別料金にてご入館いただけます。

ペア：一般 2,000 円、大・高校生 1,400 円

▽夜間割引：18 時以降ご来場の方は、割引券持参で 100 円割引にてご入館いただけます。

割引券：<http://www.suntory.co.jp/sma/common/ticket.pdf>

※前売券の販売は、2009 年 2 月 7 日(土)から 3 月 27 日(金)まで。

※チケット販売場所は、サントリー美術館受付・チケットぴあ・ローソンチケットで取り扱っております。

本件に関するお問合せ先：六本木アートナイト実行委員会 広報事務局

株式会社ブラップジャパン 担当：榎木、名取、山本、藤原

TEL:03-3486-7355 FAX:03-3486-7507